

小平第十二小学校校舎、小平第十三小学校校舎、十三小学童クラブ第一、小平第一中学校校舎、
 小平第二中学校体育館に関する更新等について

(令和3年2月1日決定)

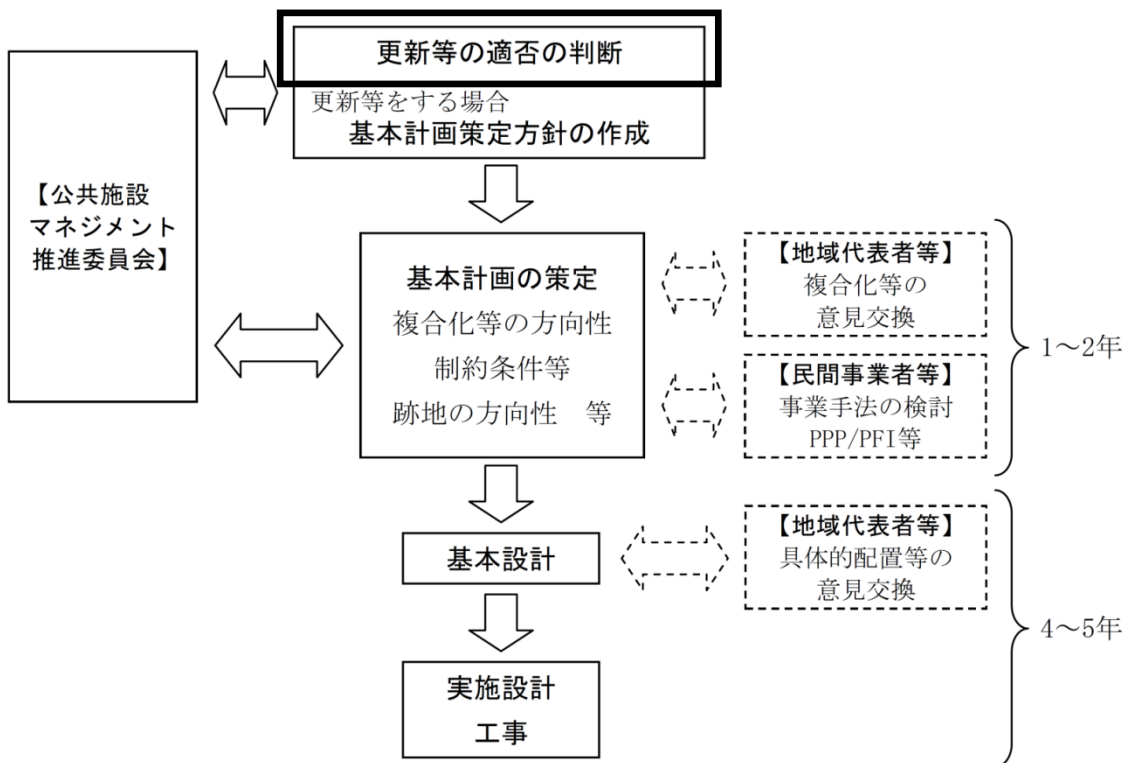
1 背景及び位置づけ

2015（平成27）年2月に「小平市公共施設白書」を発行し、同年12月に「小平市公共施設マネジメント基本方針」を策定しました。白書で示した将来的な大きな3つの課題（「人口減少・少子高齢化」、「財政バランスの悪化」、「施設の老朽化・更新時期の集中」）に対応するため、基本方針では市制施行100周年を迎える2062（令和44）年度を見据え、「いつまでもわくわくする場をみんなで創ろう」という基本理念と4つの方針（「魅力あるサービスの実現」、「持続可能な施設総量」、「コストの縮減と平準化」、「長く活用できる施設」）を定めました。

また、基本方針に沿った取組の推進に向けた方策を示した「小平市公共施設マネジメント推進計画」（2017（平成29）年3月）では、すでに目標耐用年数を迎えた施設、または計画期間中に目標耐用年数を迎える施設の更新等に向けた「基本的な検討手順」を示しています。

この「基本的な検討手順」に沿い、小平第十二小学校校舎、小平第十三小学校校舎、十三小学童クラブ第一、小平第一中学校校舎及び小平第二中学校体育館に関する更新等の適否の判断をします。

なお、小平第十二小学校、小平第十三小学校、小平第二中学校は、校舎と体育館の目標耐用年数到来年が近いことから、更新等の適否は校舎と体育館を同時に判断することとしました。



小平市公共施設マネジメント推進計画より抜粋

2 対象施設の概要

(1) 小平第十二小学校

①所在地	小川町一丁目464番地
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種低層住居専用地域（40％・80％）
③土地面積	14,435.76㎡
④土地の所有形態	市有地
⑤建築年または改築年	校舎 1968年（昭和43年） 体育館 1974年（昭和49年）
⑥構造	校舎 鉄筋コンクリート造 体育館 鉄筋コンクリート造、一部重量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	校舎 2,613.15㎡（18.10％） 体育館 727.50㎡（5.03％）
⑧延床面積（容積率）	校舎 5,307.09㎡（36.76％） 体育館 842.63㎡（5.83％）
⑨階層	校舎 地上3階 体育館 地上2階
⑩構成（部屋名）	校舎 普通教室、特別教室、職員室、給食室、プール等 体育館 体育アリーナ、ステージ、放送室、更衣室等
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	校舎 53年経過、60年（2027年） 体育館 47年経過、60年（2033年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	校舎（一部）・体育館 避難所 校庭 いっとき避難場所
⑭設置目的	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施す
⑮サービス内容	普通教育
⑯同分類（類似）施設	【施設分類】 学校（学校教育系施設） 【同分類（類似）施設】 小・中学校
⑰近隣施設	消防団第一分団、中島地域センター、上水新町地域センター、小川町一丁目地域センター、上宿公民館、上宿図書館（上宿図書館集会室）、上宿公園管理棟、きつねっばら公園子どもキャンプ場、上宿小学校、小平第五中学校、上宿保育園、小川町一丁目児童館

(2) 小平第十三小学校

①所在地	小川西町一丁目22番1号
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種低層住居専用地域（40％・80％）
③土地面積	14,356.10㎡
④土地の所有形態	市有地
⑤建築年または改築年	校舎 1968年（昭和43年） 体育館 1974年（昭和49年）
⑥構造	校舎 鉄筋コンクリート造 体育館 鉄筋コンクリート造、一部重量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	校舎 2,423.55㎡（16.88％） 体育館 729.62㎡（5.08％）
⑧延床面積（容積率）	校舎 5,106.68㎡（35.57％） 体育館 845.24㎡（5.88％）
⑨階層	校舎 地上3階 体育館 地上2階

⑩構成（部屋名）	校舎 普通教室、特別教室、職員室、給食室、プール等 体育館 体育アリーナ、ステージ、放送室、更衣室等
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	校舎 53年経過、60年（2027年） 体育館 47年経過、60年（2033年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	校舎（一部）・体育館 避難所 校庭 いっとき避難場所
⑭設置目的	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施す
⑮サービス内容	普通教育
⑯同分類（類似）施設	【施設分類】 学校（学校教育系施設） 【同分類（類似）施設】 小・中学校
⑰近隣施設	西部出張所、消防団第一分団、消防団第九分団、小川西町地域センター、小川西町中宿地域センター、小川町一丁目地域センター、小川西町公民館、小川西町図書館、小川西グラウンド、小平第二中学校、小川西保育園、小川町一丁目児童館、十三小学童クラブ第一・第二、高齢者館（ほのぼの館）、障害者福祉センター（たいよう福祉センター）、小川西町防災倉庫

(3) 十三小学童クラブ第一

①所在地	小川西町一丁目22番1号
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種低層住居専用地域（40%・80%）
③土地面積	419.05㎡ （学校全体14,356.10㎡の一部）
④土地の所有形態	市有地
⑤建築年または改築年	1987年（昭和62年）9月
⑥構造	軽量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	97.67㎡（23.30%）
⑧延床面積（容積率）	97.46㎡（23.25%）
⑨階層	地上1階
⑩構成（部屋名）	クラブ室、便所（男女）
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	34年経過、40年（2026年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	—
⑭設置目的	児童の健全な育成を図る
⑮サービス内容	保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る
⑯同分類（類似）施設	【施設分類】 幼児・児童施設（子育て支援施設） 【同分類（類似）施設】 学童クラブ、児童館、ファミリーサポートセンター、子ども家庭支援センター
⑰近隣施設	西部出張所、消防団第一分団、消防団第九分団、小川西町地域センター、小川西町中宿地域センター、小川町一丁目地域センター、小川西町公民館、小川西町図書館、小川西グラウンド、小平第十三小学校、小平第二中学校、小川西保育園、小川町一丁目児童館、十三小学童クラブ第二、高齢者館（ほのぼの館）、障害者福祉センター（たいよう福祉センター）、小川西町防災倉庫

(4) 小平第一中学校

①所在地	仲町506番地
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種中高層住居専用地域（40%・100%）
③土地面積	18,978.24㎡
④土地の所有形態	市有地
⑤建築年または改築年	校舎 1968年（昭和43年） 体育館 1993年（平成5年）
⑥構造	校舎 鉄筋コンクリート造 体育館 鉄筋コンクリート造、一部重量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	校舎 2,762.07㎡（14.55%） 体育館 2563.64㎡（13.50%）
⑧延床面積（容積率）	校舎 6,640.08㎡（34.98%） 体育館 2947.11㎡（15.52%）
⑨階層	校舎 地上3階 体育館 地上2階
⑩構成（部屋名）	校舎 普通教室、特別教室、職員室等 体育館 体育アリーナ、ステージ、武道場、プール、更衣室等
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	校舎 53年経過、60年（2027年） 体育館 28年経過、60年（2052年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	校舎（一部）・体育館 避難所 校庭 いっとき避難場所
⑭設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施す
⑮サービス内容	普通教育
⑯同分類(類似)施設	【施設分類】 学校（学校教育系施設） 【同分類(類似)施設】 小・中学校
⑰近隣施設	消防団第三分団、仲町公民館、仲町図書館、美園地域センター、小平第二小学校、小平第十四小学校、学園東小学校、仲町保育園、小川東町地域センター、学園東町地域センター、中央図書館、中央公民館、小平第九小学校、天神地域センター、市民文化会館（ルネこだいら）、健康福祉事務センター、民具庫、高齢者交流室、福祉会館、二小学童クラブ、市役所、十四小学童クラブ第一・第二、学園東小学童クラブ第一・第二、健康センター

(5) 小平第二中学校

①所在地	小川東町一丁目17番1号
②用途地域（建ぺい率・容積率）	第一種中高層住居専用地域（60%・200%）
③土地面積	22,098.34㎡
④土地の所有形態	市有地（一部借地あり153.35㎡）
⑤建築年または改築年	校舎 1977年（昭和52年） 体育館 1967年（昭和42年）
⑥構造	校舎 鉄筋コンクリート造 体育館 鉄筋コンクリート造、一部重量鉄骨造
⑦建築面積（建ぺい率）	校舎 2933.33㎡（13.27%） 体育館 735.71㎡（3.32%）

⑧延床面積（容積率）	校舎 8124.52㎡（36.76%） 体育館 842.57㎡（3.81%）
⑨階層	校舎 地上4階 体育館 地上2階
⑩構成（部屋名）	校舎 普通教室、特別教室、職員室、プール等 体育館 体育アリーナ、ステージ、放送室、更衣室等
⑪経過年数、目標耐用年数（到来年）	校舎 44年経過、60年（2036年） 体育館 54年経過、60年（2026年）
⑫現行耐震基準	適合
⑬避難所指定	校舎（一部）・体育館 避難所 校庭 いつでも避難場所
⑭設置目的	小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施す
⑮サービス内容	普通教育
⑯同分類（類似）施設	【施設分類】 学校（学校教育系施設） 【同分類（類似）施設】 小・中学校
⑰近隣施設	西部出張所、消防団第九分団、小川西町地域センター、小川東第二地域センター、小川西町中宿地域センター、小川西町公民館、小川西町図書館、小平元気村おがわ東、市民活動支援センターあすびあ、ファミリーサポートセンター、子ども家庭支援センター、男女共同参画センターひらく、教育相談室、教育支援室「あゆみ教室」、小平元気村おがわ東屋内施設、小川西グラウンド、小川町二丁目市民広場、小平第一小学校、小平第六小学校、小平第十三小学校、学校給食センター、小川西保育園、一小学童クラブ、六小学童クラブ第一・第二、十三小学童クラブ第一・第二、高齢者館（ほのぼの館）、障害者福祉センター（たいよう福祉センター）、被災者一時生活センター

3 更新等の適否の判断

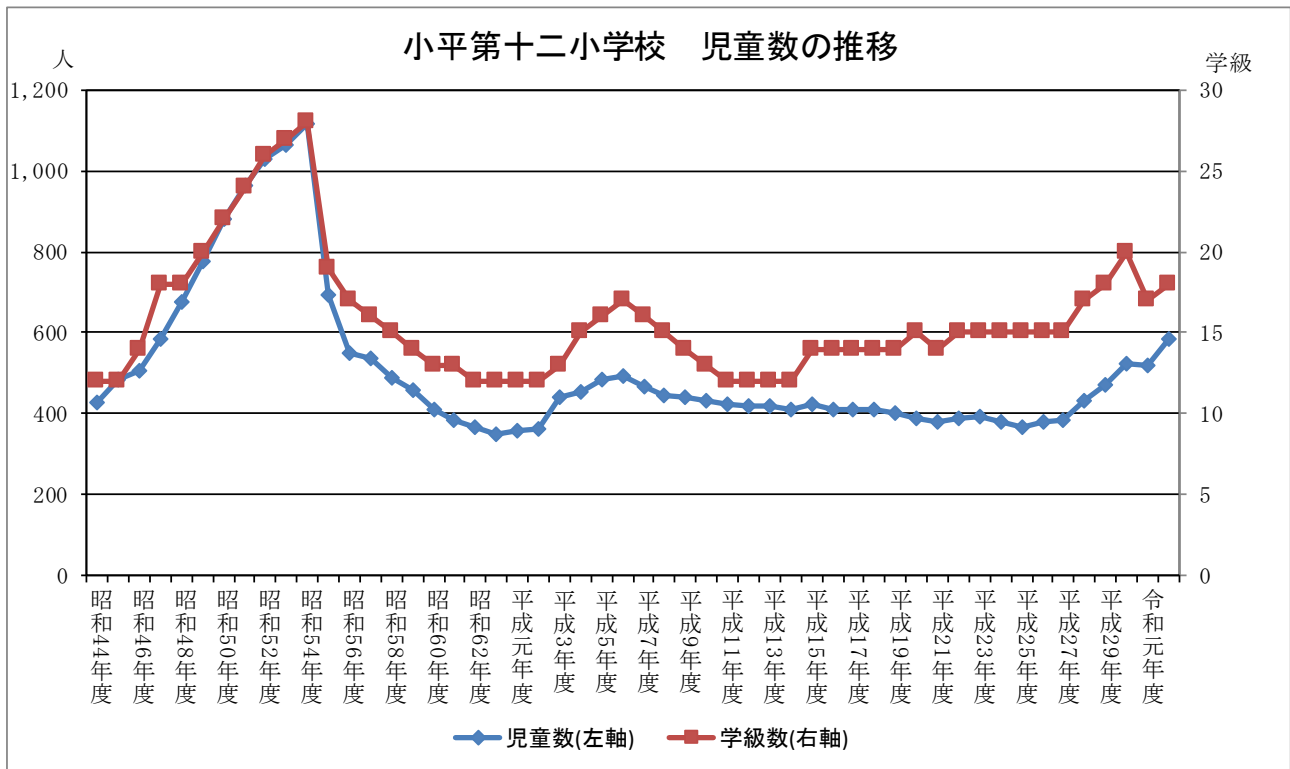
(1) 小平第十二小学校

小平第十二小学校は、小平第一小学校の分校として1968（昭和43）年に開校し、2018（平成30）年には、創立50周年を迎えています。

校舎は、開校時の1968（昭和43）年に建設してから、児童の増加に合わせて昭和50年代初頭にはほぼ現在の校舎形状となり、都市計画道路事業の関係から2014（平成26）年に給食室を校舎西側に建て直して現在の状況となりました。体育館は、1974（昭和49）年に建設しています。また、今後、児童数の増加により教室数の不足が見込まれることから、現在、学童クラブを含めた増築棟（西校舎）を建設しています（2021（令和3）年度供用開始予定）。

① 児童数の推移

児童数は、開校当時は429人で、1979（昭和54）年には1,117人まで増加しました。その後、1980（昭和55）年に上宿小学校が分校として開校したこともあり、減少し、1989（平成元）年前後では400人を割り込みました。ここ数年は、小川町一丁目土地区画整理事業や、その他周辺の開発等により上昇傾向となり、2020（令和2）年は586人となっています。



② コミュニティの状況

小平第十二小学校地域は、放課後子ども教室、青少年対策地区委員会などにより、地域コミュニティの活動が盛んに行われています。また、小平第十二小学校には、学校経営協力者制度を設置しています。

③ 建物の状況

- 2001（平成13）年～2002（平成14）年 校舎耐震補強工事実施
- 2001（平成13）年 体育館耐震補強工事実施
- 2019（令和元）年 劣化診断調査実施

校舎及び体育館について、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。

中性化の進行度は、北校舎及び南校舎の一部、体育館については、中性化が鉄筋に達しつつあります。鉄筋に顕著な腐食は見られないため、現状では安全性を脅かすような状態ではありませんが、更新等を考える時期に来ていることがうかがわれます。校舎の目標耐用年数は45～80年以上、体育館は45年程度と推定されます。

④ 近隣施設の状況

施設名	目標耐用年数 到来年	地域/ 広域	床面積 (㎡)	避難所指定	備考
小平第十二小学校体育館	2033（令和15）	地域	842.63	避難所：体育館	体育館内
十二小学童クラブ	2033（令和15）	地域			
上宿小学校	2039（令和21）	地域	4,577.32	避難所：校舎（一部） いっとき避難場所：校庭	

上宿小学校体育館	2039 (令和 21)	地域	843.05	避難所	
小平第五中学校	2030 (令和 12)	地域	6,980.91	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
小平第五中学校体育館	2031 (令和 13)	地域	789.95	避難所	
中島地域センター	2045 (令和 27)	地域	611.24	二次避難所	
上水新町地域センター	2044 (令和 26)	地域	588.80	二次避難所	
小川町一丁目地域センター	2072 (令和 54)	地域	964.00	二次避難所:地域センター	
小川町一丁目児童館	2072 (令和 54)	地域			
上宿公民館	2035 (令和 17)	地域	1,239.84	避難所:公民館	
上宿保育園	2035 (令和 17)	地域			
上宿図書館	2041 (令和 23)	地域	961.78	—	
上宿図書館集会室	2041 (令和 23)	地域			

⑤ 更新等の適否の判断

小平市公共施設マネジメント推進計画及び市制施行100周年(2062年度)に向けた学校の統合・配置の考え方(2019(平成31)年2月)では、小学校19校は2065年頃までに14校とすることを想定しています。現在、小学校は概ねバランス良く市内に配置されていますが、小平第十二小学校は上宿小学校との直線距離が約200mと近接しています。

今後の児童数の推計として、平成27年国勢調査による町丁別将来人口推計補足版では、主な通学区域となる小川町一丁目、上水新町一丁目及び上水新町二丁目における5歳から14歳までの人口は、短期的には増加し、15～20年後には減少する見込みとなっています。

劣化診断の結果は、中性化が鉄筋に達している部分もあり、校舎の目標耐用年数は45～80年以上と推定され、体育館は45年程度となっていますが、鉄筋に顕著な腐食は見られない状況で、現状では安全性を脅かすような状態ではありません。

また、2039(令和21)年に目標耐用年数を迎える上宿小学校をはじめ、近隣施設の目標耐用年数の到来まではしばらくの期間があります。

以上を踏まえ、小平第十二小学校は、劣化診断の結果により校舎及び体育館で一部劣化が進んでいる状況ですが、児童数の減少が15年～20年後であること、近隣施設の目標耐用年数到来までまだしばらくあること、将来的な統合の可能性があることから、おおむね15年程度継続して使用することとし「更新等を行わない」ものとしします。

今後は、一部中性化が進行している等の対応として、屋上防水や外壁などの改修を行う検討を進めます。

(2) 小平第十三小学校

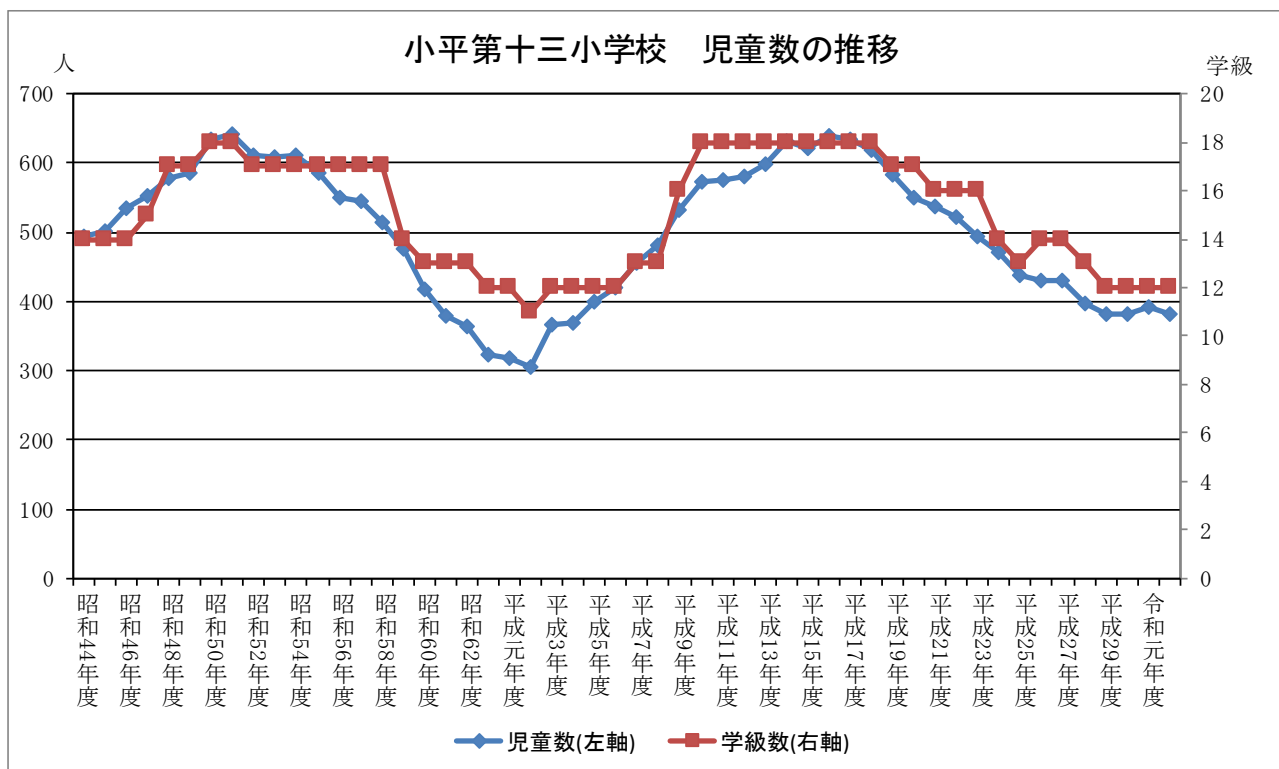
小平第十三小学校は、小平第六小学校の分校として1968(昭和43)年に開校し、2018(平成30)年には、創立50周年を迎えています。

校舎は、開校時の1968(昭和43)年に建設し、1976(昭和51)年及び2003

(平成15)年の特別教室棟の建設等により、現在の状況となりました。体育館は、1974(昭和49)年に建設しています。

① 児童数の推移

児童数は、開校当時は494人で、1976(昭和51)年の642人をピークに、1990(平成2)年には305人まで減少しました。その後、栄町土地区画整理事業及び小川西町土地区画整理事業後の学区内の開発等により、平成10年代後半には600人超まで増加しましたが、その後減少し、2020(令和2)年は382人となっています。



② コミュニティの状況

小平第十三小学校地域は、地域住民等ボランティア、放課後子ども教室、青少年対策地区委員会などにより、地域コミュニティ活動が盛んに行われています。小平第十三小学校は、市内の市立小・中学校施設の中で唯一校庭が芝生化されており、学校ボランティアの中でも、校庭の芝生を維持管理する「芝生サポーター」というボランティアが活動していることが特色として挙げられます。また、令和元年度には、小平第二中学校と合わせて学校経営協議会を設置し、コミュニティースクールとなっています。

③ 建物の状況

2002(平成14)年 校舎及び体育館耐震補強工事実施

2018(平成30)年 劣化診断調査実施

校舎及び体育館について、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。中性化の進行度は、校舎及び体育館ともに健全な状態を保っており、目標耐用年数は80年以上と推定されます。

④ 近隣施設の状況

施設名	目標耐用年数 到来年	地域/ 広域	床面積 (㎡)	避難所指定	備考
小平第十三小学校体育館	2033 (令和 15)	地域	845.24	避難所:体育館	
十三小学童クラブ第二	2033 (令和 15)	地域			体育館内
小平第二中学校	2036 (令和 18)	地域	8,124.52	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
小平第二中学校体育館	2026 (令和 8)	地域	842.57	避難所	
小川西町地域センター	2047 (令和 29)	地域	598.70	二次避難所	
小川西町中宿地域センター	2054 (令和 36)	地域	599.92	二次避難所	都営住宅内
小川町一丁目地域センター	2072 (令和 54)	地域	964.00	二次避難所:地域セ ンター	
小川町一丁目児童館	2072 (令和 54)	地域			
小川西保育園	2074 (令和 56)	地域	1,070.93	—	
西部出張所	2039 (令和 21)	広域	2,032.57	避難所:西部市民セ ンター	小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
小川西町公民館	2039 (令和 21)	地域			小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
小川西町図書館	2039 (令和 21)	地域			小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
十三小学童クラブ第一	2026 (令和 8)	地域	97.46	—	
高齢者館 (ほのぼの館)	2054 (令和 36)	広域	600.00	二次避難所	都営住宅内
障害者福祉センター (たいよう福祉センター)	2044 (令和 26)	広域	1,510.53	二次避難所	

⑤ 更新等の適否の判断

今後の児童数の推計として、平成27年国勢調査による町丁別将来人口推計補足版では、主な通学区域となる栄町二丁目、栄町三丁目、小川西町一丁目、小川西町二丁目、小川西町三丁目及び小川西町五丁目における5歳から14歳までの人口は、減少する見込みとなっています。

劣化診断の結果は、校舎・体育館ともに健全な状態を保っています。また、近隣施設の目標耐用年数の到来まではしばらくの期間があります。

以上を踏まえ、近隣施設の目標耐用年数到来までまだしばらくあり、劣化診断の結果として、中性化の進行度は健全な状態を保っているものの、小平第十三小学校は、児童数の減少が見込まれること、将来的な統合の可能性が低いことなどを踏まえ、「更新等を行う」とします。

⑥ 基本計画策定に向けて

公共施設マネジメント推進計画の「基本的な検討手順」に基づき、基本計画を策定します。

小平市公共施設マネジメント推進計画において「地域対応施設については、拠点化を図り、小学校を中心とした複合化を進めます」としています。

小平市第四次長期総合計画基本構想及び小平市公共施設マネジメント推進計画においては、「今後、地域学習やコミュニティ機能を学校と複合化するなどにより、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図ります。」との方向性を示しています。

また、公民館と地域センターの類似性・親和性に着目し、施設をより柔軟に有効活用するとともに、様々な活動の交流や融合に繋がる新しい地域コミュニティ施設のあり方について検討しており、小平第十三小学校の建て替えに際しては、これらを踏まえた検討を行います。

体育館内に設置する十三小学童クラブ第二（以下、「学童クラブ第二」という。）の複合化等についても、合わせて基本計画の中で検討します。

(3) 十三小学童クラブ第一

十三小学童クラブ第一（以下、「学童クラブ第一」という。）は小平第十三小学校敷地内にあります。敷地内には学童クラブ第一のほか、体育館内に学童クラブ第二があります。当該学童クラブは市が事業を行っており、放課後などに家庭に代わる生活の場を提供しています。

① 児童数の推移

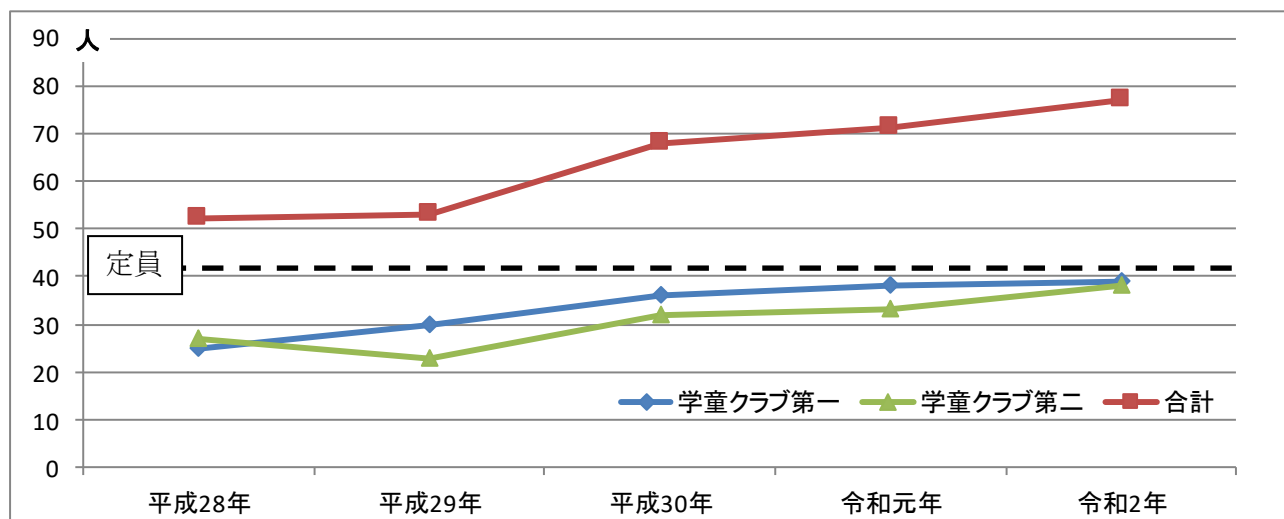
学童クラブ第一及び学童クラブ第二の児童数は定員数に近い状況です（図1）。また、在籍児童数は増加傾向にあります（図2）。

在籍児童数の推移（図1）

	定員	2016 (平成28)年	2017 (平成29)年	2018 (平成30)年	2019 (令和元)年	2020年 (令和2)年
学童クラブ第一	40	25	30	36	38	39
学童クラブ第二	40	27	23	32	33	38
合計	80	52	53	68	71	77

※各年4月1日現在

在籍児童数の推移（図2）



② 建物の状況

劣化診断調査は、コンクリート内部の中性化進行状況で判断しており、鉄筋コンクリート造ではない鉄骨造である学童クラブ第一は、実施しておりません。

外壁に錆が散見されること、またシーリングが劣化していることなどから老朽化が進んでいる状況です。

③ 近隣施設の状況

施設名	目標耐用年数 到来年	地域/ 広域	床面積 (㎡)	避難所指定	備考
小平第十三小学校	2027 (令和 9)	地域	5,106.68	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
小平第十三小学校体育館	2033 (令和 15)	地域	845.24	避難所:体育館	
十三小学童クラブ第二	2033 (令和 15)	地域			
小平第二中学校	2036 (令和 18)	地域	8,124.52	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
小平第二中学校体育館	2026 (令和 8)	地域	842.57	避難所	
小川西町地域センター	2047 (令和 29)	地域	598.70	二次避難所	
小川西町中宿地域センター	2054 (令和 36)	地域	599.92	二次避難所	都営住宅内
小川町一丁目地域センター	2072 (令和 54)	地域	964.00	二次避難所:地域セ ンター	
小川町一丁目児童館	2072 (令和 54)	地域			
小川西保育園	2074 (令和 56)	地域	1,070.93	—	
西部出張所	2039 (令和 21)	広域	2,032.57	避難所:西部市民セ ンター	小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
小川西町公民館	2039 (令和 21)	地域			小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
小川西町図書館	2039 (令和 21)	地域			小川駅西口 公共床へ機 能を移転予 定
高齢者館(ほのぼの館)	2054 (令和 36)	広域	600.00	二次避難所	都営住宅内
障害者福祉センター (たいよう福祉センター)	2044 (令和 26)	広域	1,510.53	二次避難所	

④ 更新等の適否の判断

小平市では、2019(令和元)年度に「第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」を策定しており、その中で、学童クラブ事業はニーズ調査の結果に基づき量の見込みを算出し、学童クラブ数、定員の確保を目指す計画を示しています。現在、学童クラブ第一及び学童クラブ第二の児童数は増加傾向にあり、学童クラブに対するニーズが高まっている状況です。

学童クラブ第一は、目標耐用年数40年に対し、建築から34年が経過し、老朽化が進んでいる状況です。

以上を踏まえ、学童クラブ第一は、引き続き在籍児童数が増加傾向にありニーズに対応する必要があること、安全な保育を実施するため建物の老朽化に対応する必要があることから「更新等を行う」ものとします。

なお、更新等を行う際には、保育を継続しながら工事を行うことに留意する必要があります。

⑤ 今後の対応

本適否の判断において、小平第十三小学校を「更新等を行う」とし、基本計画を策定することとしたため、学童クラブ第一について、小平第十三小学校の基本計画の中で合わせて検討します。

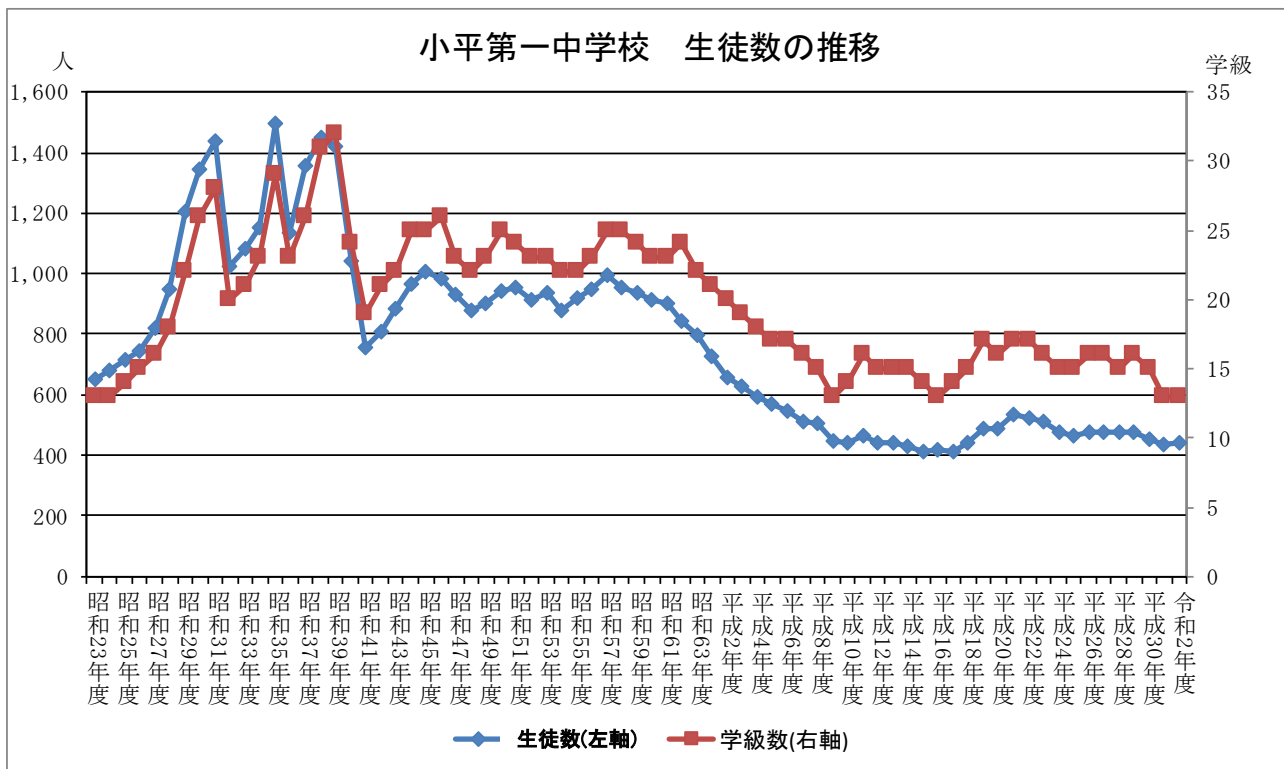
(4) 小平第一中学校校舎

小平第一中学校は、1947（昭和22）年に小平町立小平中学校として開校しました。2017（平成29）年には、創立70周年を迎えています。

校舎は、生徒の増加に合わせて1968（昭和43）年から昭和50年代にかけて、ほぼ現在の校舎形状となりました。1999（平成11）年に特別教室棟を建設し、現在の状況となりました。なお、体育館は、地域開放型体育館として1993（平成5）年に建設しています。

① 生徒数の推移

生徒数は、開校当時は651人で、昭和20年代終盤から1965（昭和40）年にかけて1,000人を超えましたが、1965（昭和40）年に小平第四中学校が分校として開校したこともあり、1,000人を割り込みました。その後概ね減少傾向となり、2020（令和2）年は442人となっています。



② 建物の状況

1998（平成10）年 校舎耐震補強工事实施

2018（平成30）年 劣化診断調査実施

校舎について、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。中性化の進行度は、健全な状態を保っており、目標耐用年数は80年以上と推定されます。

なお、体育館については、1993（平成5）年に建設され比較的新しいことから、現時点では劣化診断調査の対象としませんでした。

③ 近隣施設の状況

施設名	目標耐用年数 到来年	地域/ 広域	床面積 (㎡)	避難所指定	備考
学園東小学校	2036(令和18)	地域	4,556.79	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
学園東小学校体育館	2037(令和19)	地域	843.05	避難所	
学園東小学童クラブ第二	2050(令和32)	地域	122.13	—	
小平第二小学校	2031(令和13)	地域	6,467.59	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
高齢者交流室	2031(令和13)	広域			校舎内
小平第二小学校体育館	2033(令和15)	地域	843.99	避難所	
二小学童クラブ	2045(令和27)	地域	150.03	—	
小平第十四小学校	2028(令和10)	地域	4,782.96	避難所:校舎(一部) いっとき避難場所:校庭	
小平第十四小学校体育館	2033(令和15)	地域	843.88	避難所	
十四小学童クラブ第一・第二	2048(令和30)	地域	227.27	—	
中央図書館	2044(令和26)	地域	4771.55	—	
仲町公民館	2073(令和55)	地域	1,453.27	避難所:公民館	
仲町図書館	2073(令和55)	地域			
仲町保育園	2031(令和13)	地域	813.42	—	
学園東町地域センター	2048(令和30)	地域	599.70	二次避難所	
小川東町地域センター	2049(令和31)	地域	597.94	二次避難所	
天神地域センター	2045(令和27)	地域	614.57	二次避難所	
美園地域センター	2057(令和39)	地域	547.72	二次避難所	

④ 更新等の適否の判断

今後の生徒数の推計として、平成27年国勢調査による町丁別将来人口推計補足版では、主な通学区域となる学園東町、小川町二丁目、小川東町及び仲町における10歳から14歳までの人口は、若干の増減は見込まれるものの、現状とほぼ変わらず推移する見込みです。

劣化診断の結果は、校舎は健全な状態を保っています。また、近隣施設の目標耐用年数の

到来まではしばらくの期間があります。

以上を踏まえ、小平第一中学校は、将来的な統合の可能性が低い状況ですが、劣化診断の結果により、校舎の状態は健全であること、生徒数は現状とほぼ変わらず推移する見込みであることから、当面の間は機能を維持し、おおむね20年程度継続して使用することとし「更新等を行わない」ものとします。

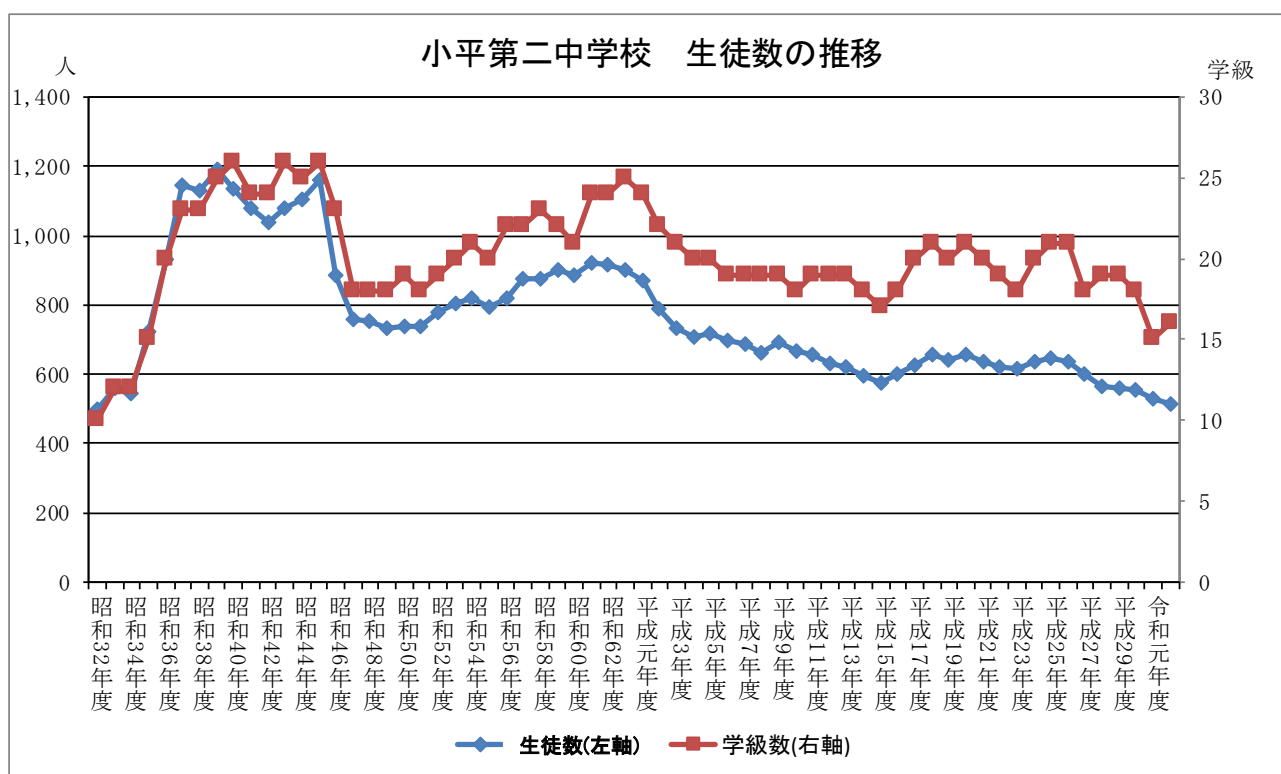
(5) 小平第二中学校

小平第二中学校は、1957（昭和32）年に小平町立小平第二中学校として開校し、2017（平成29）年には創立60周年を迎えました。

校舎は、1977（昭和52）年から1981（昭和56）年にかけて、ほぼ現在の状況となりました。体育館は、1967（昭和42）年に建設しています。

① 生徒数の推移

生徒数は、開校当時は498人で、昭和30年代後半から昭和40年代前半で1,000人を超えましたが、1971（昭和46）年度に小平第五中学校が分校として開校したこともあり、1,000人を割り込みました。その後概ね減少傾向となり、2020（令和2）年は514人となっています。



② 建物の状況

2005（平成17）年～2006（平成18）年 校舎耐震補強工事実施

2005（平成17）年 体育館耐震補強工事実施

2018（平成30）年 劣化診断調査実施

校舎について、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。中性化の進行度は、健全な状態を保っており、目標耐用年数は75～80年以上と推定されます。

体育館についても、コンクリート圧縮強度は設計基準強度を確保していました。中性化の進行度は健全な状態を保っており、目標耐用年数は80年以上と推定されます。

③ 近隣施設の状況

施設名	目標耐用年数 到来年	地域/ 広域	床面積 (㎡)	避難所指定	備考
小平第一小学校	2030（令和12）	地域	6,370.71	避難所:校舎（一部） いっとき避難場所:校庭	
小平第一小学校体育館	2032（令和14）	地域	843.19	避難所:体育館	
一小学童クラブ	2032（令和14）	地域			
小平第六小学校	2056（令和38）	地域	8,242.54	避難所:校舎（一部） いっとき避難場所:校庭	校舎内
六小学童クラブ第一	2056（令和38）	地域			
小平第六小学校体育館	2056（令和38）	地域	1,455.07	避難所	
六小学童クラブ第二	2048（令和30）	地域	122.13	—	
小平第十三小学校	2027（令和9）	地域	5,106.68	避難所:校舎（一部） いっとき避難場所:校庭	
小平第十三小学校体育館	2033（令和15）	地域	845.24	避難所:体育館	
十三小学童クラブ第二	2033（令和15）	地域			
十三小学童クラブ第一	2026（令和8）	地域	97.46	—	
小川西町中宿地域センター	2054（令和36）	地域	599.92	二次避難所	都営住宅 内
小川西町地域センター	2047（令和29）	地域	598.70	二次避難所	
小川東第二地域センター	2053（令和35）	地域	506.52	二次避難所	
被災者一時生活センター	2053（令和35）	広域	195.12	—	
西部出張所	2039（令和21）	広域	2,032.57	避難所:西部市民セ ンター	小川駅西 口公共床 へ機能を 移転予定
小川西町公民館	2039（令和21）	地域			小川駅西 口公共床 へ機能を 移転予定
小川西町図書館	2039（令和21）	地域			小川駅西 口公共床 へ機能を 移転予定

小平元気村おがわ東	2031 (令和 13)	広域	3,301.53	避難所:建物 いっとき避難場所:屋外 広場	
市民活動支援センターあすぴあ	2031 (令和 13)	広域			小川駅西 口公共床 へ機能を 移転予定
ファミリーサポートセンター	2031 (令和 13)	広域			
子ども家庭支援センター	2031 (令和 13)	広域			
男女共同参画センターひらく	2031 (令和 13)	広域			小川駅西 口公共床 へ機能を 移転予定
教育相談室	2031 (令和 13)	広域			
教育支援室「あゆみ教室」	2031 (令和 13)	広域			
小平元気村おがわ東屋内施設	2034 (令和 16)	広域	843.12	避難所	
小川西保育園	2074 (令和 56)	地域	1,070.93	—	
高齢者館 (ほのぼの館)	2054 (令和 36)	広域	600.00	二次避難所	都営住宅 内
障害者福祉センター (たいよう福祉センター)	2044 (令和 26)	広域	1,510.53	二次避難所	

④ 更新等の適否の判断

今後の生徒数の推計として、平成27年国勢調査による町丁別将来人口推計補足版では、主な通学区域となる栄町二丁目、栄町三丁目、小川西町一丁目～五丁目、小川町二丁目及び小川東町一丁目～五丁目における10歳から14歳までの人口は、若干の増減は見込まれるものの、現状とほぼ変わらず推移する見込みです。

劣化診断の結果は、校舎及び体育館は健全な状態を保っています。また、近隣施設の目標耐用年数の到来まではしばらくの期間があります。

以上を踏まえ、小平第二中学校は、将来的な統合の可能性が低い状況ですが、劣化診断の結果により、校舎及び体育館の状態は健全であること、生徒数も現状とほぼ変わらず推移する見込みであることから、当面の間は機能を維持し、おおむね20年程度継続して使用することとし「更新等を行わない」ものとします。